

活動報告

団体名	阪南市社会福祉協議会
活動名	災害時要援護者の把握や支援のための中学生による子ども福祉委員事業
活動期間	2019年3月1日～2020年9月30日
活動の成果	<p>現在潜在化している台風 21 号のニーズ発掘や、次なる災害にもつよい地域づくりの一環として「子ども福祉委員」による要援護者への訪問や平時からの生活支援を行う活動の取り組みを強化することを目的に、当事業を実施しました。</p> <p>周知のためのパンフレットを作り、多くの人に子ども福祉委員活動を PR することができ、ケアマネージャー等からの問い合わせや依頼が新たに増え、子どもたちによる支援活動の情報を必要とする人に届けることが出来ました。「この取り組みは阪南市を明るくする取り組み。もっと多くの人に伝えてほしい」との声がありました。</p> <p>平時からの困りごと支援では、サービスで解決できない困りごとを解決し、また子どもと高齢者や障がい者のあたたかい関係づくりにもつながりました。訪問活動では「まさか中学生が来てくれるなんて」と涙を流して喜ばれる高齢者もありました。</p> <p>災害にも強い地域づくりフォーラムでは、基調講演で「普段のつながりが災害時に生きる」ということを市民と共に学び、事例報告では、普段活動している子ども福祉委員（中学生）から「災害に備え、普段の活動を通して多くの人とかわっておくことが大事」という発言がありました。参加した市民からは「普段の地域づくりの役割がよく分かった。中学生の力強い取り組みと発言に涙が出た」と非常に大きな反響があり、いかに普段の地域づくりや要援護者支援が大切か、ということを確認め合うことができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>台風 21 号ではたくさんの被害が発生しました。その多くは、一人暮らしの高齢者等の普段から支えが必要な方でした。次なる災害に備えて、普段から出来ること。たくさんの応援をいただき、子どもたちも担い手として地域の中で新たな繋がりの形をつくるチャレンジを実行することができました。小中学生「子ども福祉委員による」による困りごと支援やイベント開催では多くの「ありがとう」と「つながり」が生まれ、こうした活動を市民に発信するフォーラムでは卓さんの市民に普段からの支え合いの大切さを発信できました。みなさまからの想いのこもったご寄付が、確実により良い地域づくりに繋がっています。たくさんの応援に心から感謝申し上げます。</p>